



お知らせ版

Public Relations Magazine
Oshu City

Vol. 143
2018 **1**

地域行政と防災の拠点として

衣川総合支所新庁舎完成

衣川総合支所は東日本大震災により被災し、衣川保健福祉センターを仮庁舎に業務を行ってきました。市では、国からの震災復興特別交付金を財源に、昨年3月末から同センター西側に新庁舎の建設工事を進めてきました。12月に新庁舎が完成し、移転が完了しましたので、概要をお知らせします。

新庁舎の概要

【所在地】〒029-4332
衣川区古戸64番地4

【電話】☎3111(変更なし)

【構造】鉄骨造一部鉄筋コンクリート 地上1階地下1階

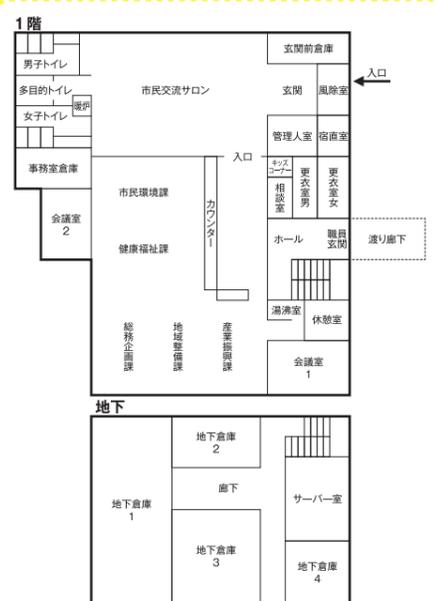
【延べ床面積】976・59平方メートル

【所要室】市民交流サロン、事務室、相談室、倉庫

【特徴】

○市民交流サロンの天井には同区大平産の杉、窓枠には県産カラマツを使用

○1階に全ての課を配置し、窓口カウンターで全ての手続きが可能



新庁舎配置図(衣川保健福祉センターとは渡り廊下で連結)

開庁式

1月4日、県産材などを使用した真新しい庁舎で開庁式が行われました。行政区長や各団体の代表など約100人が出席し、衣川中学校吹奏楽部の演奏がオープニングに花を添えました。

○衣川地域協議会からの意見や要望を取り入れた
・市民に開かれた、誰もが使いやすい庁舎とし、待ち合わせや打ち合わせなど多目的に使用できる市民交流サロンを設置
・庁舎は、災害に強い安心・安全な防災拠点として、太陽光発電設備や自家発電設備を設置



式辞で小沢昌記市長は「衣川の元気は奥州市の元気。その元気をもって全国に名をとどろかせる奥州市をつくっていきたい」と述べ、情報交換の場などの有効活用を呼び掛けました。小沢市長ら関係者がテープカットを行い、新庁舎の開庁を喜びました。

■問い合わせ 衣川総合支所 総務企画課(内線205)



これからを担う世代として衣川中2年高橋青志君もテープカットに参加